

GIGA スクール構想の現状（玖波小学校）

令和3年9月

令和2年度末に各学校に一人1台端末（タブレット）が入りました。現在その活用については、どの学校現場においても活用事例の蓄積に努めているところです。大竹市教育委員会主催の研修会も定期的に行われ、各校の実践に学ぶ機会も設けられています。ICTを活用した授業はこれからの学校において大きなウエイトを占めることになるでしょう。子供たちの学びに大いに役立つ手段として活用できるよう、玖波小学校も研鑽を積んでいるところです。

1学期にどのような活用をしてきたのかまとめてみました。

- ①資料をプリントではなく、データで各自のパソコンに一斉配布する。
- ②配布された資料に印をつけたり、線を引いたり加工する。
- ③写真を取り込んでコメントを書き込む。
- ④パソコンの画面上で図形を操作する。
- ⑤授業中に児童が回答したアンケートの集計結果をグラフに表す。
- ⑥自分の考えがどちらに近いかを「心のメーター」として視覚化する。
- ⑦各自の考えを教師に転送し、みんなに紹介する。
- ⑧一人学習（調べ学習・動画の視聴・練習問題など）

今後、更に効果的な活用ができるよう、授業の工夫改善に努めて参ります。

※大竹市においては、タブレットの持ち帰りを来年度高学年（5・6年生）において計画しています。